

地域とともにある学校づくり

～コミュニティ・スクールについて～

1 コミュニティ・スクールとは？

教育委員会の規則に基づいて「学校運営協議会」を設置した学校をコミュニティ・スクールと言います。

学校運営協議会委員は、教育委員会から任命された保護者や地域住民、地域学校協働活動推進員等と校長から構成されます。

ここでは、学校運営や学校運営に必要な支援について地域のみなさんと話し合い、それを学校運営に反映させていきます。

学校運営に保護者や地域のみなさんも参画してもらい、学校と地域がパートナーとなって、地域の子どもたちを育てていくことを通して、学校づくり、地域づくりを進めていくのがコミュニティ・スクールです。

【 図1 学校運営協議会の役割と構成員について】

学校運営協議会を設置した学校：コミュニティ・スクール

【学校運営協議会】



役割：学校運営やその運営に必要な支援に関する協議

委員：地域の人々、保護者、校長
地域学校協働活動推進員等

2 なぜ、コミュニティ・スクールが必要か？

子どもたちを取り巻く環境や学校の抱える課題が、複雑化・困難化している中で、その課題を解決し、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、地域と学校とが連携・協働していくことが必要になってきます。コミュニティ・スクールは、その有効な手だての一つであると言われています。

地域も、ともに「**当事者**」となり**学校運営に参画**



【共通の目標】

どのような子ども達を育てるのか。
(学校の教育目標)

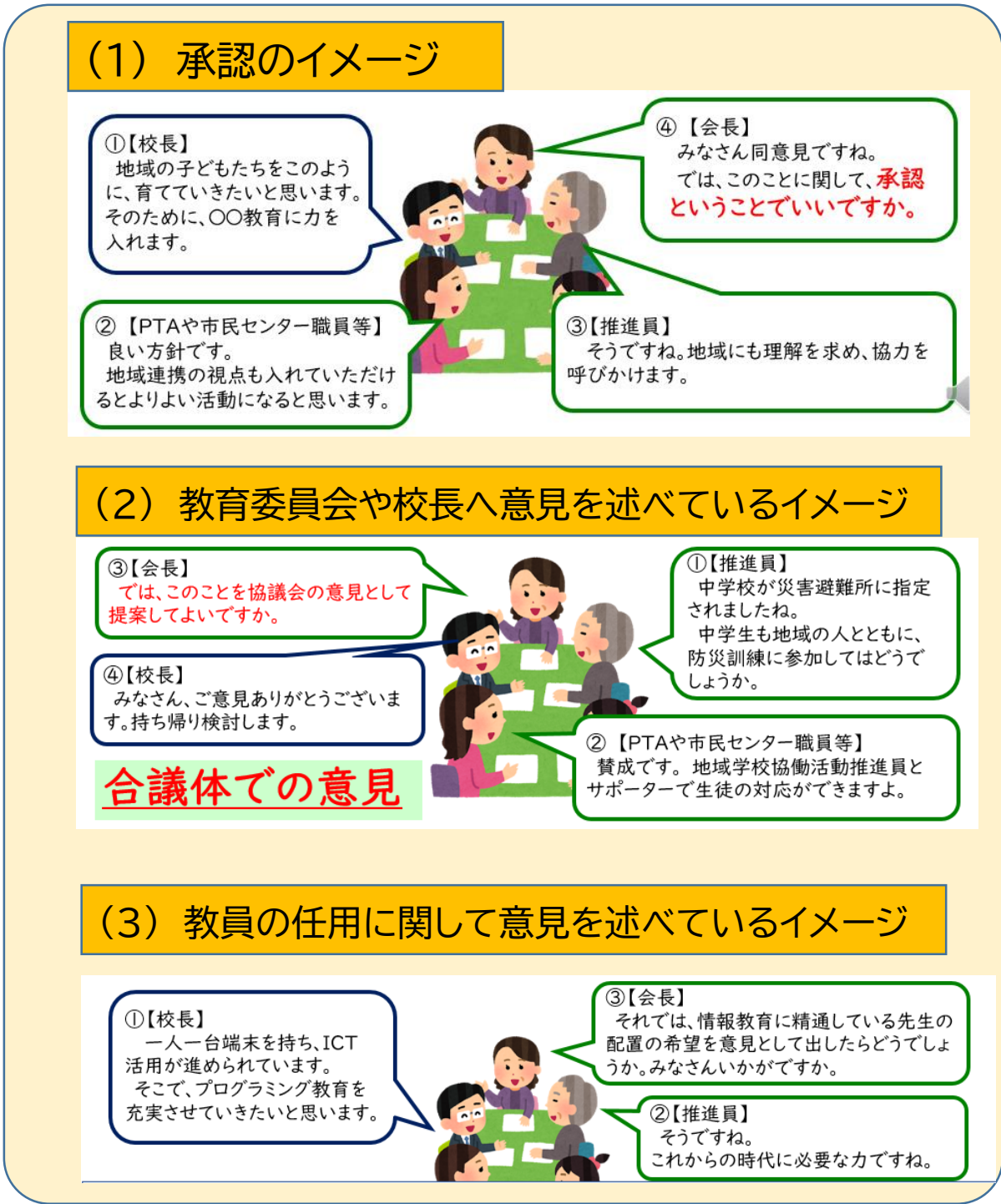
3 学校運営協議会委員はどのようなことをするの？

学校運営協議会では、学校運営や学校運営の支援に関することを話し合います。

【 図2 学校運営協議会の機能 】

【具体的には・・・】

- (1) 学校運営の基本的な方針について承認します。
★ 年度末には、学校が行う自己評価の結果を基に、学校運営協議会委員が評価を行います。
- (2) 学校運営について、教育委員会や校長に意見を述べるができます。
- (3) 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができます。
★ 特定の個人の任用に関する事項を除いた内容で、基本的な学校運営方針の実現に関する意見を教育委員会に対して述べるができます。

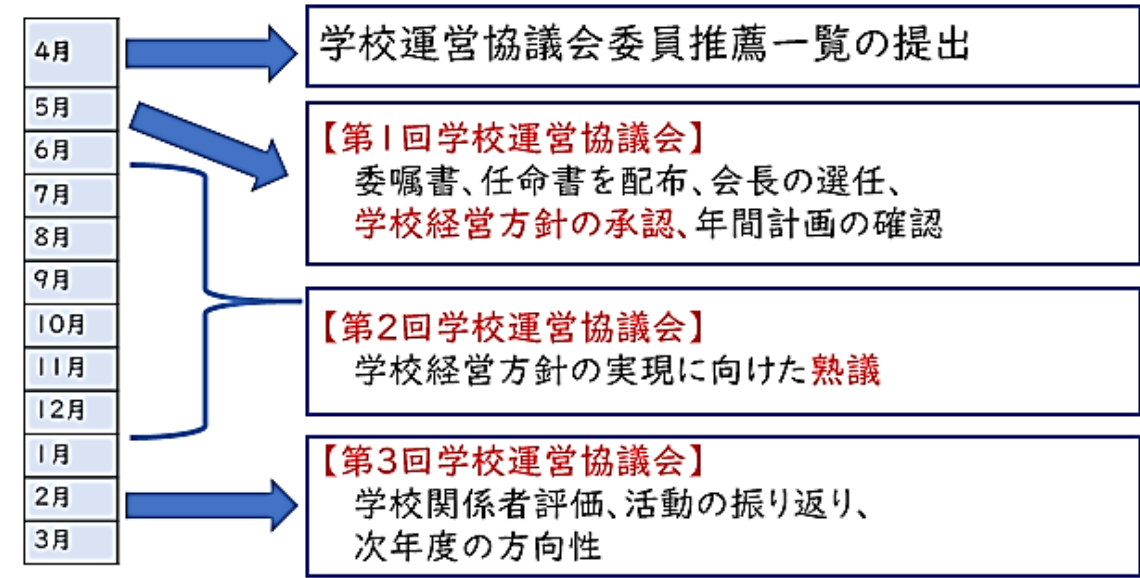


4 どのようなスケジュールで行うの？

右の図は、学校運営協議会の流れの例です。学校運営協議会では、学校と地域が共通のビジョンを持ち、その実現に向けて話し合います。

例えば、9年間で目指す子どもの姿について具体的に「〇〇といった活動を行ってはどうか」「こどもの学力を上げるためにどうしたらよいか」等、それぞれの立場から話し合い、今後の学校運営に生かします。

【 図3 年間活動計画例 】



5 最後に

学校運営協議会委員は、特別職の公務員です。また、学校運営協議会委員は、特別職の公務員となりますので、会議中の個人情報等について守秘義務が発生します。